

第 76 号
平成 22 年
3 月 発行

知識と技術

— 新しい自分になるために —

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 晃

人の精神は年齢と共に熟成していくものです。人は本来、味わい豊かな酒のようなものです。しかし、酒が貯蔵環境の変化で醗酵を止めてしまうように、人はストレスによって、その「味覚」を台無しにしてしまうことがあります。

ストレスの弊害はまず、人を怠惰な気分に変えてしまうことにあります。怠け者になってしまう可能性が極めて強いのです。「いくら頑張ったって、何も変わりはない」と言う人は、「醗酵」を止めてしまった人です。変えなければならないのは、状況ではなく、その人自身なのです。環境を変えるのは容易な事ではないでしょう。特に、自分一人の力で組織改革は容易な事ではないでしょう。しかし、それに比べれば、自分自身を変えるのは簡単です。自分一人だけの意思と努力で実行可能なのです。スト

レスが追いつかないくらい、どんどん自分自身を変えていきましょう。それには新しいことにチャレンジすることが重要です。

自分を変える契機となる最大のものは「知識」と「技術」の修得ではないでしょうか。社会人が大学の講座に通ったり、料理教室へ入門したり、主婦が油絵を描くサークルに参加したりするのは、新しい知識と技術を得るためです。学び習得することによって自分の中に新しい自分が芽生え始めるのです。

知識や技術を得ることは、大変気持ちがいいものです。他人が知らない事を知っている事によって優越感が得られます。気分転換に本を読む人は多くいらっしゃると思います。読書の楽しみの一つはその中に新しいものを見つける事かもしれません。つまり知の優越感を得られるはずです。また、知識や技術は他人にひけらかすことに意味があるでしょう。本を読んで得られた知識や技術は、知識のない人に分かち与えてあげるべきです。そのことでその人は感謝されるだろうし、いい気分にもひたれるのです。

物知りの人は魅力的です。知識や技術を実生活に役立てて貴方自身「望洋荘」の仲間や住人に好かれて下さい。

「ひな祭り」おやつバイキング

三月三日（水）ひな祭りに二階塩屋岬広場にて午前と午後に「おやつバイキング」を実施致しました。「おやつバイキング」には今までの入居者様の要望をも踏まえて、和菓子を中心に饅頭と練り切り（寒梅・ゆず）それと女性の好きなブチケーキ（苺・マングー・ティラミス）を陳列しました。それぞれ食べたいお菓子を選び、白酒を飲み談話を楽しみながら召し上がられていました。



「家族交流会」永崎ユニット

三月十四日（日）永崎ユニットにて、「家族交流会」を開催いたしました。当日は多くのご家族様に来荘頂き、入居者様と一緒に「おやつバイキング」で好きなおやつを選び、お茶を飲みながら会話をされたり、ハンドマッサージでスキンシップをとるなど、楽しい時間を過ごす事が出来ました。最後に一年間の入居者様の暮らしをまとめたスライドショー上映では、笑ったり、泣いたりする場面もありました。



「入居者様のくらし風景」

まだ、屋外が肌寒いこの季節に入居者様はどのような生活をしているのか紹介させて頂きます。各ユニットでは毎月入居者様の誕生会を行っております。誕生会では、ホットプレートを使って、ホットケーキやお好み焼きやたこ焼きなど作ってみんなでお茶会をしながら誕生日のお祝いをしております。また写真の様に入居者様同士で囲碁を楽しんだり、カラオケで歌を楽しんだりしております。



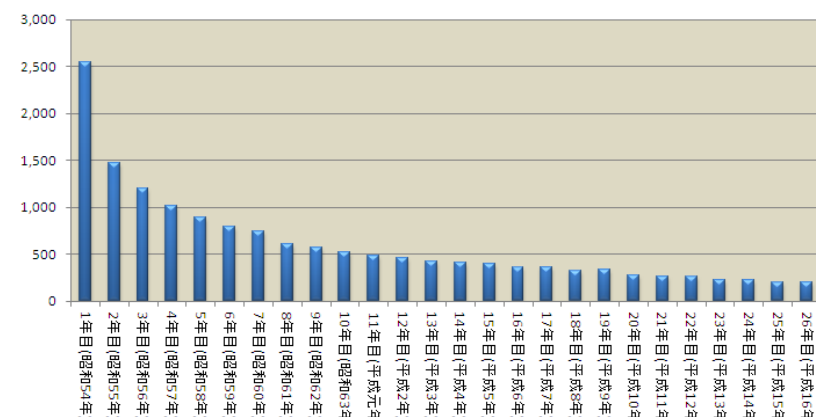
「一診療所における四半世紀にわたる患者動向の検討」
・・・其の一

いわき市に於ける一診療所（有床）の外來・入院で来院した患者動向について検討した。少子高齢化して行つたこの四半世紀の経過がこの調査でどの様に推察されるか興味のある所である。
今回は開設初年度のみを報告する。

診療所（有床診療所）における四半世の患者動態（昭和54年）

① 初年度来院患者総数 2,547名（うち 男性1,293名 女性1,254名）

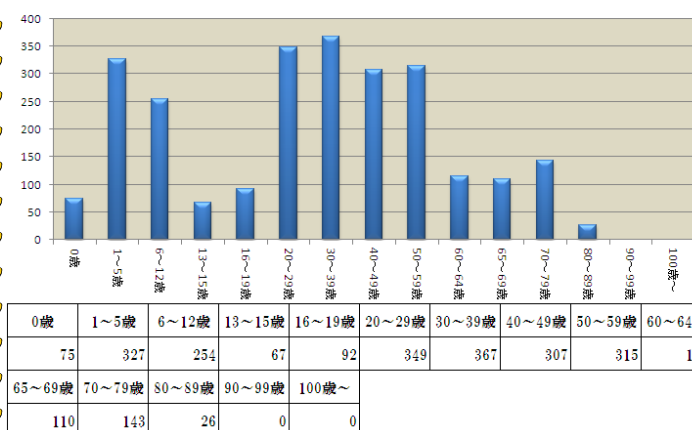
② 初年度来院患者のその後の再来院状況 ※ただし、初年度のみの方は717名



1年目 (昭和54年)	2年目 (昭和55年)	3年目 (昭和56年)	4年目 (昭和57年)	5年目 (昭和58年)	6年目 (昭和59年)	7年目 (昭和60年)	8年目 (昭和61年)	9年目 (昭和62年)	10年目 (昭和63年)
2,547	1,473	1,206	1,011	893	798	745	611	567	520
11年目 (平成元年)	481	458	425	414	394	355	362	319	335
21年目 (平成11年)	265	260	230	228	196	206			

① 男女比はほぼ同数で僅かに男性が三名多く訪れている。
② 初回来院した二五四七名の方で再来院者が徐々に減少して行く状態を表しています。
一〇年目前後から五〇〇人台、十五年目前後から初回来院者の一〇〇前後となり徐々に減少しながら現在に至っている。

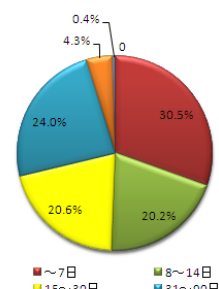
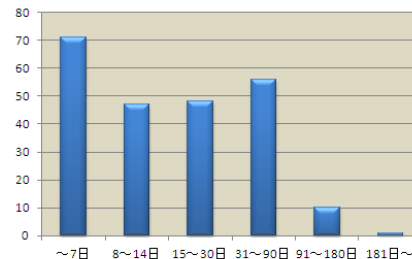
④ 年齢区分



③ 入院患者

総数216人(延べ入院患者人数233人)

※入院一人当たり平均在院日数 25.2日



③ 入院状況を見ると入院患者 216 名、延べ入院患者数 233 名、平均入院在院日数 25.2 日
入院在院日数にて 1 ヶ月以内の入院患者が全体の 70%を占めている。

④ 乳幼児が全体の 15%を占め、20 代～50 代の働き盛り多く認められる。60 代から急激に減少いることが伺われる。この表からは、少子高齢化はみられていない。

一考察

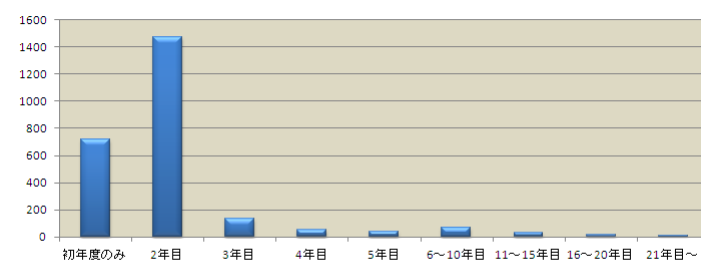
現在少子高齢化が進んでいる状態を一診療所（有床）における来院患者の動態から検討することを目的とした。

今回は昭和五十四年来院した患者だけの四半世紀にわたる年度毎の再来院状況の推移を検討した。

乳幼児が多く来院し、働き盛りの 20 代～50 代も多く来院している。しかし 60 代からの高齢者の来院が少ない事が特徴である。この事からは少子高齢化は未だみられていない。

入院は在院日数1ヶ月以内が全体の 70%を占めているも長期在院患者も少々多く見られている。

⑤ 再来院年度



初年度のみ	2年目	3年目	4年目	5年目	6～10年目	11～15年目	16～20年目	21年目～
717	1473	133	51	42	72	30	17	12

⑤ 初回来院者総数 2,547 名のうち 717 名はその年度のみで、残りの 1,830 名の方が次年度以降も来院するもほぼ 5 年目位までに再来院し、10 年以後は年に 3～4 人再来院という事を表しています。

有機肥料のご案内

昨年の四月に掲載致しました「有機肥料」の案内ですが、掲載より一年が経ち予想以上の反響に正直驚いている状況です。皆様のご協力により、数年間溜めた大量の「有機肥料」をほぼ消費する事が出来たことに感謝いたしております。

今後も毎日大勢の方の食事を作っておりますので、「有機肥料」が沢山出来ます。有機肥料を使ってみたいと思っている方は、ぜひ施設受付まで申出ください。無料で提供しております。

※お持ち帰り用の容器等はご持参くださいませ
様お願いいたします。

今回有機肥料の使い方について再度ご紹介させていただきます。

有機肥料の使い方は、十五リットル容量のプランタの場合、土一〇リットルに対して有機肥料二五リットル（二対一の割合）に合わせ、よく混ぜてから土が少し湿る程度に水を与え、雨のあたらない所で一カ月程（冬場は三カ月）寝せれば出来上がります。

家庭菜園で使う時は、畝を作って、十五から二〇cmの深さに溝を掘り、その溝に一cm程の厚さに出来上がった有機肥料を撒き下の土とよく混ぜ合わせて、その上に土をかけ、土が少し湿る程度に水を与え、約四週間経過すれば、出来上がります。

ここ一年間実際に使われた方々のお話を聞かせて頂きました。「今まで自分の家でも作っていま

したが、この有機肥料は凄くきれいにできてい
るね」「今までより、作物も育ちが良かった」「土
がサラサラになった」などと言われる方が多くい
らっしゃいました。また反対に「異臭がある」「動
物に掘り起こされた」という話も聞かれました。

私自身も今年はじめて家庭菜園を行いました。

実際に「有機肥料」使ってみましたが、土に加え
た当初、やはり異臭がありました。そして土を起
こしてみると有機肥料が粘土状の塊になって異臭
が出ている事がわかりました。再度丁寧に土と混
ぜると一週間程度で臭いもなくなりました。私の
場合、消臭と動物避けのために「竹酢液」という
物を使ったためか、動物に掘り起こされる事も在
りませんでした。作物としては、茄子や胡瓜など
もよく実り、この野菜を使って妻も「ぬかづけ」
にチャレンジするなど楽しく、新鮮で美味しい野
菜を食べる事が出来ました。ただ、枝豆はどんど
ん背丈が大きくなり葉っぱだけが成長し、主役の
枝豆があまり実りませんでした。しかし食べては
美味しく家族にも好評でした。後から父親に聞い
たのですが、枝豆にはあまり肥料は要らないとの
事でした。この教訓は来シーズンに生かして行き
たいと思います。

皆様も是非挑戦してみても如何でしょうか



四月の行事予定

- 四月十六日（金）午前九時～
「フラワーセンター」 豊間ユニット
- 四月十八日（日）午後一時～
「望洋荘家族会総会」 塩屋岬ホール
- 四月二十三日（金）午前九時三十分～
「三崎公園花見会」 四倉ユニット
- 四月二十八日（水）午前九時三十分～
「石炭化石館見学」 勿来ユニット

【四月のお誕生会予定】

- 四月八日（木）
薄磯 鈴木シメ様 （九五歳） 誕生会
- 四月十五日（木）
永崎 肥後せき様 （九二歳） 誕生会
- 四月十九日（月）
薄磯 吉田京子様 （七〇歳） 誕生会
- 四月二十日（火）
勿来 深谷芳子様 （七八歳） 誕生会

編集後記

『望洋荘』便り
平成二十二年三月三十一日発行
発行所 いわき市

社会福祉法人 りんさく福祉会

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 55-7373
FAX (0246) 55-7255